

体介 回紹

押し花サークル 『花模様』

押し花に魅せられて

自然の恵み、そのままの色を染しめる押し花、花を愛する者と押し花が奏でるシンフォニー、それが押し花アートです。

「えー梅が押し花になるのー!」目の前のおいしそうな梅の絵が押し花なんて、それは、それは衝撃的な出会いでした。押し花IIセピア



皆さん楽しそうに押し花づくり

色のイメージから一新、色の変わらない押し花に魅せられ教室に通いました。私にも以外と簡単に押し花が作れて作品になるのです。

それが楽しくて益々はまって行きます。やがて押し花好きな仲間が広がり、今に至ります。買ったお花ばかりじゃなく道端の雑草が主役に変身もします。野菜や果物、自然の素材を生かした作品作りも大きな魅力です。意外性が又楽しいのです。花の色が絵の具となつて、景色になつたり、コラージュで動物になつたり、新しい発見とテクニクで押し花が芸術化して来ています。大好きな花や記念の花束を押し花絵にしたり、ハガキやブローチをプレゼントして喜ばれたり、自分も他人も幸せにしてくれます。作った押し花は



何事でもキープして置くことが出来、老若男女誰でも手軽に楽しめることも人気を高めているのでしよう。今、グループには、20代、80代と幅広い年齢層がいます。時には若さを時には知恵袋を出し合い個性あふれる作品を作っています。今年も文化祭、その他で作品を展示します。是非、ご覧ください。

押し花サークル花模様 杉本妃呂子

【問合せ】〇五五(九七七)五六九八

俳壇

涅槃図を拝みに来しや帰依日和
 (弁天町) 杉山十四男
 梅に風小揺らぐ音の聞えたり
 (柏久保) 森 正
 逃げ易き芝火を打つにま転びぬ
 (牧之郷) 鈴木 穂雀
 涅槃西風一と日を籠り粥柱
 (牧之郷) 土屋 耿人
 春浅し水ひびき合ふ天城越え
 (大野) 渡辺 米子
 春の土蹴ちらして行く小犬かな
 (駒前) 山崎 こう
 梅日和飛行機雲の空を割る
 (加殿) 小川 知子
 春一番月も歪に吹かれをり
 (小坂) 森嶋富美子
 シクラメン窓辺に競つ花の数
 (小坂) 公野 かの
 白菜の蔓でしばられ厨口
 (小立野) 阿部 のり
 茶緑に樺大樹の芽吹きけり
 (牧之郷) 市川 章

みんなの広場



はっとり
服部 すばるくん

- 地区名 土肥
 - H14年3月20日生まれ
- はじめましてすばるです！
僕は車のおもちゃで遊ぶのが大好きなんだ！

ハッピー
タイム
の
プレゼント

のだ
野田 ますみ
真澄ちゃん

- 地区名 土肥
 - H14年3月19日生まれ
- こんにちわ、真澄です。音
楽が大好きでアンパンマンの
曲がかかると踊り出しちゃう
の。



◎健康（長生き）の秘訣は

- ・30年間玄米を食べている
- ・朝起きて体操をする

◎楽しみ生きがい

- ・老人クラブ活動で多くの人と話をする

◎今後の抱負

- ・健康管理をしっかりとし、老人クラブ活動を続けたい



いきいき

はら
原 直 さん

- 熊坂
- 大正2年9月29日生まれ

歌壇

兄の軍靴重きを履きて燥きぬ
ぬ別離の休暇と知る由もなく

(年川) 山田 山人

この良き日楽しみなるや老人
会村の道をば小走りに行く

(堀切) 水口 あき

もう九十歳まだまだ九十と言
ひ替へて白寿を目標す歌友あ

きさん(熊坂) 伊藤百合子

ハングラライダー飛べる峠を下
りきて干物の匂ふ町に出でき

し(牧之郷) 飯田千枝子

冬の間に堪へぬし球根花芽み
ゆ水やり楽しく咲くは待たる

る(小山) 内田 靖子

咲き盛る庭の山茶花色褪せて
すげなき風に花弁をこぼす

(柏久保) 後藤 初枝

さつま芋釜茹の上切り切られ
罪もなきのにひにさらさるる

(大野) 土屋ふでの

提灯に偲ぶ苦難の手掘り跡天
城隧道胸熱く見る

(熊坂) 長倉 杏

千秋の想ひに待てど帰り来ぬ
子等を思ふはせつなかるらむ

(熊坂) 菊池うめか